

いなべの持続可能な協議体活動 ～支え合い・助け合いの地域活動を目指して～

いなべ市では118自治会ごとに第2層協議体（福祉委員会）を設置し、町単位（4町）に第1.5層、市全域で第1層の3層構成で取り組んでいます。住みよい“いなべ”を目指して活動が約5年経過し、徐々に連動した取り組みとなり、新たな活動も生まれつつあります。

いなべの持続可能な協議体活動 ～支え合い・助け合いの地域活動を目指して～

地域住民や関係機関の方々と試行錯誤しながら取り組んでいます。まだまだ完成した形には至っていませんが、それぞれの役割を認識し、**できることを無理なく、継続していける形**で進めています。

どの協議体でも、「困っている人がいるなら…」「今は助ける側、将来は自分たちが助けてもらえるように…」と活動をしています！

第1層：市単位

介護保険計画に関するアンケート調査では、いつかは運転免許証の返納を考えている方が約4割います。
(いなべ市高齢者福祉計画：令和3年3月施行)

- 新たな市内での移動手段を創出するために…
近所の集いの場・サロンへの参加 ⇒ 通所サービスBへの送迎を検討・準備中



第1層協議体での検討



勉強会の実施



有志活動者で活動検討



通所サービスBの活動者、参加者へヒアリング

★withコロナで講演会や視察研修が延期…いまでできることを工夫して活動へ邁進中！！

第1.5層：町単位

送迎支援は議題となり検討しましたが、人員や継続性などの課題を解消できず、第1層で議案をあげることになりました。

- あったら良いなの活動やサービスを創出、実施
買い物支援 / 資源ゴミ搬出支援 / 福祉バスの利用促進 / 次世代の担い手 / 地域食堂の開催



大安たすけあいたい



資源ゴミ搬出



福祉バス利用促進



次世代の担い手づくり

★検討や議論された内容は、第1層や第2層へ伝わり、活動規模は違いますが活動協力を得て実施、互助が生まれています

第2層：自治会単位

市内118自治会の内、65自治会で福祉委員会活動が運営されています。身近な範囲での福祉活動が広まるように自治会活動へ参加しています。

- 身近な範囲での情報共有や検討する場（福祉委員会）の設置、運営



支え合いマップ作成



見守り訪問活動



世代間交流



ふくし勉強会

★第1.5層での検討内容や取り組みが、第2層で周知されることで、福祉委員会や自治会としての新たな互助・近助の活動に変化しています

「自分ごと」・「みんなごと」となるように…
情報発信し、多くの人に取り組みを知ってもらい、関心をもってもらい、持続可能な活動を目指していきます。

